

『カーテンの向こう側』

～人間の知識の限界についての考察～

日常という薄っぺらいカーテンをそっと押し開けば、
そこには私たちの想像を超えた領域が広がっている。

原子時計がナノ秒単位で脈動しており、
一呼吸が永遠の反響のように感じられる領域があります。

銀河が一日しか持たない次元があり、
全ての人間の知識が取るに足らない炎になる。

ある世界では、
メタンの雪片が冷たい空にゆっくりと落ちます、
他の世界では、放射能の炎の中で生き物が笑っています。

他の人があなたにもっと現実的になるように懇願するときは、
微笑みながら彼らにこれについて考えるように促してください。

私たちは、本当に「現実」を知っているのだろうか？
私たちは何かの深さを理解できるのでしょうか？

- T Newfields (和訳: ronpei)

開始: 2010年 東京都 完成: 2025年 静岡市